

建通新聞

徳 島

発行所 建通新聞社

四国支社 高松市築地町13-5
〒760-0061 電話(087)835-1900
香川支局 電話(087)835-1900
徳島支局 電話(088)623-5666
高知支局 電話(088)883-1161
愛媛支局 電話(089)932-8866
<http://www.kentsu.co.jp/>
新聞定価6ヵ月 27,000円(税込)

©建通新聞社 2013

発行紙
東京/神奈川/静岡/中部/大阪
岡山/香川/愛媛/高知

西日本高速
徳島工事 四国横断道徳島東地区

グロースで路線測量

西日本高速道路徳島工事事務所は、四国横断自動車道徳島東地区の路線測量を8月末までに開始した。委託先はグロース(大阪府河内長野市)。
2014年3月19日までの履行期限で業務を進める。順調なら今後、ボーリング調査や地質調査を別途発注し、並行して調査を進め、14年度以降に着手する道路詳細設計に向けた基礎資料にする。

1996年度に事業化し、現在も同社で調査・設計が進められている仮称・徳島ジャンクション(JCT)と仮称・徳島東インターチェンジ(IC)間4.3キロの本線、ランプを対象にした路線測量を行うもの。延長は

約6キロ。現況の地形や高さを計測、センサー杭を設置するため、中心線測量・縦断測量、横断測量、詳細測量を実施する。14年度以降に予定している道路詳細設計に向けた基礎資料となる。

現在、同区間では、設計協議を前に、吉野川渡河部の道路構造や橋梁の形式などの検討が進められている。同社では、これらの方向性も踏まえながら、19年度の供用開始を目指し、14年度以降の詳細設計、15年度以降の工事施工を進めることに

している。

内水解析をニタ

西日本高速道路徳島工事事務所は、四国横断自動車道徳島東地区の内水解析を8月末までに開始した。委託先はニタコンサルタント(徳島市)。
2014年3月18日までの履行期限で業務を進める。
仮称・徳島JCTと仮称・徳島東IC間4.3キロのうち、雨水による内

水氾濫が起きやすい徳島市川内町旭野地区(吉野川左岸部)を中心とする約3平方キロの内水氾濫

解析を行い、道路構造物を整備した際の影響をシミュレートし、必要なら強制排水装置や水路の整備などの対策を検討するもの。ニタコンサルタントは、徳島大学の故岡部健志教授が公表したソフトを基に自社で開発した地方都市向けの氾濫解析の計算エンジン「X-OKabe」を使い、解析に当たることになっている。

緊急輸送道沿道特定建築物

ニタで調査を開始

徳島県は、県内の緊急輸送道路沿道で道路を閉塞させる住宅・建築物(特定建築物)の調査に8月31日付で開始した。

委託先はニタコンサルタント(徳島市)。年度末までの履行期限で業務を進める。

耐震改修促進法の改正を受け、地方公共団体が指定する緊急輸送道路などの沿道にある建築物の耐震診断が義務化され、地震による倒壊で道路を閉塞させる建築物を抽出するもの。

地震による倒壊で道路を閉塞させる建築物とは、前面道路幅員の半分の高さを超える建築物(前面道路幅員が12メートルを超える場合)と6メートル

道路、一般国道、県管理道路、市町村管理道路といった緊急輸送道路ネットワーク計画に示す第1次緊急輸送道路450キロや第2、3次緊急輸送道路677キロの沿道にある対象建築物の判定や抽出作業を行う。市町村独自で実施している調査内容も踏まえながら、業務を進めていく計画。

耐震改修促進法の改正は、住宅・建築物の耐震化を加速させることが狙い。まず全ての建物に耐震診断・改修の努力義務(防災拠点となる施設や避難路沿道建築物には耐震診断の実施義務)を課した上で、所管行政庁による指導・助言の対象とする。

避難路沿道建築物などの診断実施期限は県が指定することになっている。県は今回の調査と並行しながら2014年度にかけて段階的に実施期限を指定していくことになっている。